

企画展「戦国の伊達氏—種宗から政宗へ」開催要項（案）

1. 名称： 企画展「戦国の伊達氏—種宗から政宗へ」

2. 趣旨：

群雄割拠した戦国時代の東北地方で、最終的に最大の大名となった伊達政宗。そのルーツは鎌倉時代にさかのぼる。本展覧会では、一般にはあまり知られていない伊達氏の初祖・朝宗（ともむね）から歴史を説き起こし、戦国時代の14世種宗（たねむね）、15世晴宗（はるむね）、16世輝宗（てるむね）、そして17世政宗を中心に展示を展開し、伊達氏がどのように東北の雄、さらには全国有数の大名へと成長したかをたどる。

展示資料は、若者にも関心の高いよろいや刀、陣羽織などの武器・武具をはじめ、伊達氏の居城や合戦に関する絵図、武将たちの政治・外交、権謀術数をうかがわせる文書などを中心に構成する。武将が崇敬した寺社や政宗のかぶとを飾る月の持つ意味などから神仏への信仰を知る展示、難しいと敬遠されがちな武将の文書の見方早わかりコーナーなども設け、イラストや一言見出し、子どもガイドなどを用いながら、会期が夏休みと重なることを活かして、子どもから大人まで興味を持って観覧できるよう工夫を凝らす予定である。

戦（いくさ）の合間に和歌や能、蹴鞠そして酒宴を楽しみ、海外の文化も取り入れる武将たち。彼らの文化人としての側面や人間的交流も紹介し、さらに織田信長や上杉謙信、豊臣秀吉らとの関わりも交えながら、戦国時代に躍動した伊達氏の姿に迫る。

3. 主催： 仙台市博物館

4. 共催： 河北新報社

5. 後援： 在仙マスコミ各社

6. 会期： 令和元年7月12日（金）～9月1日（日） 開催日数46日

休館日： 毎週月曜日（ただし7/15、8/12は開館）、7/16（火）

前期展示： 7月12日（金）～8月4日（日） 後期展示： 8月6日（火）～9月1日（日）

7. 会場： 仙台市博物館 テーマ展示室I・企画展示室

8. 観覧料： 常設展料金

9. 展示構成案：

プロローグ 戦国文書のかたち	第1章 はじまりの伊達氏
第2章 武将の国の治め方	第3章 いくさ三昧！？—伊達の武器武具
第4章 神仏にすぎる	第5章 文化の香り
エピローグ 戦国の世をふり返る	

10. 主な展示資料案： 総件数122件 ※●は国宝、◎は重要文化財、◇は市指定文化財

「塵芥集 狩野本」（東北大学附属図書館）、「梁川城絵図」「桑折西山城絵図」（宮城県図書館）、「留守政景立願之日記」（鹽竈神社博物館）、「遠藤家文書」（個人蔵／白石市教育委員会保管）、「梁川城跡出土遺物」（福島県伊達市教育委員会）、「桑折西山城跡出土遺物」（福島県桑折町教育委員会）、●「伊達輝宗書状 上杉謙信宛」（米沢市上杉博物館）、「伊達家歴代画真」（1世朝宗～17世政宗）、「伊達成宗家伝秘書」、◎「塵芥集 村田本」、◇「晴宗公采地下賜録」、「上杉謙信書状」、「織田信長朱印状」、◎「黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」、◎「銀伊予札白糸威胴丸具足 豊臣秀吉所用 伊達政宗拝領」、◎「山形文様陣羽織 伊達政宗所用」、「太刀 鑑国行 豊臣秀吉所用 伊達政宗拝領」、「火縄銃」、◇「伊達政宗甲冑像」、「豊臣秀吉書状」、

「伊達政宗黒印状」(以上、仙台市博物館) など

1 1. 関連イベント:

(1) 記念講演会 (申込制・聴講無料)

7月13日(土) 13:30~15:00 博物館ホール

講師: 桜井英治氏 (東京大学教授)

演題: 伊達植宗と「塵芥集」—その構成と成立過程をめぐって

(2) しろ・まち講座 (申込制・聴講無料)

8月10日(土) 13:30~16:00 博物館ホール

講師: 佐々木徹 (当館学芸員) 演題: 戦国大名伊達氏と寺社・信仰

黒田風花 (当館学芸員) 演題: 伊達輝宗と家臣たち

(3) ミュージアムセミナー 7月13日(土) 10:00~11:30 博物館講習室・展示室

(4) 友の会広報セミナー 7月16日(月) 13:30~15:00 博物館ホール・展示室

(5) プレイミュージアムイベント「信長・政宗のハンコをつくろう」

1 2. 印刷物: ポスターB 2、ポスターB 3、チラシA 4、リーフレットA 4 (オールカラー)

1 3. 予算: 6,938 千円